

◆浴衣着物着付け体験

安部 正美

10月2日に浴衣着物着付け体験を文化研修センターで実施しました。

浴衣が19着、打掛14枚、かつら2個、羽織袴3着と美しい衣装が準備されました。

打掛は石井町で「手芸の店おがわ」を経営されている小川和美さんからお借りしました。小川さんは、友人らと「しげちゃんスマイル」という名前で芸能的ボランティア活動をされ、老人ホーム等に慰問に出向かれています。その衣装をお借りできないかと昨年お願いしましたら、快くOKしてくださり豪華な着付け体験ができることになりました。

当日は外国人の方が38名集まり、萩森会長がくじ引きを用意して1番の人から順に自分の好みの浴衣を選び、参加した交際交流協会の会員全員で着付けをお手伝いしました。浴衣の上に打掛をはおり、皆さん綺麗なお嫁さんになりました。スマホでお互いに写真を撮りあい、すごく盛り上がりました。

アトラクションとして、平岡香織さん(つながり支援ピアサポートとくしま)のお琴の演奏があり、綺麗なお琴の音色に耳を傾けて、演奏後は興味津々でお琴に触れさせて頂きました。次に渡部真弓さんが羽織袴姿で日舞を披露してくださいました。皆さんは初めての体験に大喜びされておりました。ふとした思い付きに協力してくださる方や喜んでくださる方がたくさんいて、今回も大盛況で本当にうれしく思いました。皆さんありがとうございました。



◆浴衣着物を着て、とてもうれしかった

フン・ティ・タオ

皆さん、こんにちは、私は、タオと申します。ベトナムから来ました。日本に6年間住んでいます。

日本の伝統衣装である着物・浴衣を着て参加できてとても嬉しかったです。その日は、同じクラスの異なる国からのたくさんの友達がいました。みんなでカラフルな衣装、着物、浴衣を着ました。それは本当に美しいです！時代劇の宮殿で登場人物に扮した気分でした。誰もが笑顔で写真を撮り、その素晴らしい瞬間を思い出として残しました。

でも着物は本当に履きにくいです。その時ふと思っ

たのですが、昔から日本人はどうやってこんなに精巧で美しい衣装を考え、作ることができたのでしょうか。本当に感心！

また、アーティストの楽器を演奏する扇子ダンスも楽しみました。とても上手に踊り、とても上手に楽器を弾いていま

した。最後に、日本に住んで働いている外国人に日本語を教えるだけでなく、異なる国の文化を交換する機会を与えてくださった教室の先生方に感謝したいと思います。ここは私たちの第二の故郷のようなものです。有難うございました。



◆来年もまた参加したい

デウィ ラ プトリアディ (エラ)

この活動に、いろいろな国の方が参加しました。そして着物や浴衣など、さまざまな種類の日本の伝統的な服



を知ることができました。浴衣や着物には沢山のパーツがあることを知りました。そして、パーツを使っての着方を学ぶことができました。とても興味深いと思います。

伝統的な衣装だけでなく、この活動では日本の伝統的な楽器を紹介してくれました。そして実際に、参加者全員が楽器の演奏方法を直接試すこともできました。先生が着物を着て伝統舞踊を披露してくれました。とても印象的でした。来年もぜひ参加したいと思いました。

【国際交流バスツアー】

外国人の方とバスツアーで交流しませんか。

期日：11月27日(日) 7時~19時

行先：神戸市内(森林植物園、南京町、動物園)

費用：3,000円 定員：50名

申込み先：三原 ☎090-1008-2034

萩森 ☎070-5543-2842